

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【公表番号】特表2011-511065(P2011-511065A)

【公表日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-545847(P2010-545847)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/44 (2006.01)

A 6 1 Q 11/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/84 (2006.01)

A 6 1 K 8/24 (2006.01)

A 6 1 K 8/46 (2006.01)

A 6 1 K 8/368 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/44

A 6 1 Q 11/00

A 6 1 K 8/84

A 6 1 K 8/24

A 6 1 K 8/46

A 6 1 K 8/368

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月18日(2011.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

アルギニンとポリホスホン酸との塩。

【請求項2】

固体の形態である、請求項1に記載の塩。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の塩を含む口腔ケア組成物。

【請求項4】

請求項1または請求項2に記載の塩の有効量を含む、下記のための：

i . 齒の形成を軽減または抑制する、

i i . 初期のエナメル質病変を軽減、修復または抑制する、

i i i . 歯の脱灰を軽減または抑制し、再石灰化を促進する、

i v . 歯の過敏性を軽減する、

v . 歯肉炎を軽減または抑制する、

v i . 口内の潰瘍または切り傷の治癒を促進する、

v i i . 酸産生細菌のレベルを低下させる、

v i i i . アルギニン分解細菌 (arginolytic bacteria) の相対レベルを高める、

i x . 口腔における微生物バイオフィルムの形成を抑制する、

x . 糖負荷後の歯垢 pH を少なくとも pH 約 5.5 のレベルに上昇および / または維持

する、

- × i . 歯垢の蓄積を軽減する、
- × i i . 口内乾燥を治療、寛解または軽減する、
- × i i i . 歯を増白する、
- × i v . 心血管の健康状態を含めた全身の健康状態を増進する、
- × v . 歯の侵食を軽減する、
- × v i . 歯を齲食原性細菌に対して免疫化する、ならびに / あるいは
- × v i i . 歯および口腔を清浄にする、

組成物であって、その必要がある対象の口腔に適用される上記組成物。